

口承文化寺子屋

心をつなげよう 歌の力

口承文学のおもしろさに触れてみませんか



酒田の昔話を後世に伝え残すと同時に
読み聞かせや紙芝居をとおして廃れが
ちな『わらべ歌』や『昔話の歌』など
も次の時代へつなげよう



ピアノ・歌指導/佐藤喜和子

『知っ得』目からうろこの玉てばこ！

かたりべ移動研修会 2014

歌『通りゃんせ』と 天神様
歌『二宮金次郎』とその像

日時： **7/17** (木) 9:30~16:00

行き先： **当日のお楽しみ** (浜田コミセン…集合・解散)

参加料： **1,500円** (バス代、お茶・おにぎり弁当代)

参加者数： **先着 48名** (要申し込み)

講師： **小野信幸**(一条八幡宮宮司)

お誘い合わせの上お申し込みくださいませ

聞きましょう… **昔話・ためになる話** ほか

歌いましょう… **昔話の歌・わらべ歌 童謡** ほか

動きましょう… **血流促進リズム体操** ほか

よもやま
お茶して語ろう **四方山話**

連絡先 **かたりべ玉てばこ** ☎0234-31-2008 (Fax 兼)

心をつなげよう 歌の力

かたりべ玉てばこ
(旧砂瀧ばえむの会)

心をつなげよう 歌の力

事業の内容

- 酒田に伝わる『昔話』や『わらべ歌』を後世に伝え残す活動。
- 読み聞かせや紙芝居をとおして、懐かしい『昔話の歌』なども、次の時代へ繋げる活動。
- 三宮金次郎像と天満宮を訪ねる移動研修を実施。
(歌「三宮金次郎」「とおりゃんせ」にまつわる秘話)
- ピアノと血流の良くなるリズム体操を交えた歌の活動。
- 参加者同士のふれあいを図るため、お茶を囲んだ『四方山話』の場を提供。など

3

心をつなげよう 歌の力

◎目からうろこの「知っ得」情報

例1] 歌『うれしいふなまつり』より

内裏さま…雛人形の一。天皇・皇后をかたどった男女一対の雛人形。

[補説] 男雛のみを指して「内裏」「お内裏様」と呼ぶのは誤り。

お雛さま…雛祭りに飾る人形。雛人形。

[補説] 女雛のみを指して「お雛様」と呼ぶのは誤り。

右大臣と左大臣

[補説] 赤いお顔の「右大臣」は誤り。正しくは「左大臣」。

例2] 七福神…日本・中国・インドの神で構成 日本神は独り誰か?

例3] 松竹梅…歳寒の三友。待つ(松)だけ(竹)うめ(梅)え

5

心をつなげよう 歌の力

はじめに

●語り

文字に書き記されることなく、人々の口から口へと語り継がれてきた最も身近な口承文化(口承文学・伝承文学・口承文芸)である。口伝え。くちつて。

事業の目的

酒田の昔話を後世に伝え残すと同時に、読み聞かせや紙芝居をとおして『わらべうた』や『昔話の歌』なども次の時代へ繋げる活動を目的。

2

心をつなげよう 歌の力

活動場所

酒田市内(コミセン・文化センターなど)

●わらべ歌(遊び歌)

手遊び歌 毬つき歌 縄跳び歌 数え歌
しりとり歌 茶化し歌 替え歌 絵書き歌

●昔話の歌(あらすじが分かる)

牛若丸 うさぎと亀 三宮金次郎 桃太郎
浦島太郎 金太郎 一寸法師 とおりゃんせ
大黒様 雀のお宿 など

4

心をつなげよう 歌の力

●わらべうた「みっちゃんみちみち…」より

小泉文夫(1927~1985)民族音楽学者で元東京藝術大学教授

「学術資料」として記録している日本のわらべ歌を後世に残す活動を長年にわたって続けており、その功績は東京藝術大学の「小泉文夫記念資料室」に収められている。氏が録音した「みっちゃんみちみち」が楽譜レファソの3音で構成されていた。「小学校低学年の音楽教育には、日本古来のわらべうたを導入すべきである」と、小泉文夫氏が文部省に提案。

林望(1949年2月20日~ペンネーム沢嶋優)国文学者

彼は著書「古今黄金譚~古典の中の糞尿物語~」(平凡社新書、1999)の序章において、「天下の傑作」と称してこの歌を取り上げている。「みっちゃん/みちみち」と「み」が連続する頭韻的效果に加えて「道々」と「ミチミチ(擬音)」の掛詞の巧妙さ、さらに「うんこたれて/手で拭いて/なめちゃった」という脚韻的效果、「紙がないから→手で拭く」、「もったいないから→なめる」という対句の面白さも兼ね備えていると指摘する。また「もったいないからなめる」という行為に関しては、日本人が古来より糞尿を「恵みをもたらす神聖なもの」とみなす農耕信仰の価値観をもっていたことが関係しているのではと考察している。「廁には神様が居る」みたいなもの。

6

ふるさとの心を伝える『かたりべ玉てばこ』
語部とは伝承者のことである

○期待される効果

- ▼廃れがちな口承文化を見直すきっかけになる。
- ▼共通の話題を持つことで家族、仲間、やがては地域の人とのつながりが生まれ、絆の輪が広がる。
- ▼懐かしい話やわらべ歌は勇気と新たな活力を生み出す。
- ▼心身の洗濯で蓄えられるエネルギーは地域との連携に大きく作用する。
- ▼親から子、子から孫、いつの世も変わらぬ子等の成長を手助けする。
- ▼懐かしい「歌・話」に高齢者は元気を取り戻し日々の生活に活気が増す。
- ▼語りと読み聞かせの違いが理解できる。

連絡先 かたりべ玉てばこ ☎0234-31-2008(Fax 兼)